

# たぐすい

TAKUSUI  
No. 741

兵庫の漁業人のための情報誌

7

July.2018

発行 (一財)兵庫県水産振興基金



但馬のシロイカ (香美町)

## 各団体の総会 第43回兵庫県漁民物故者合同供養祭

### 《今月の海上安全標語》 ～ 天気を読む ～

天気予報や、先人からの言い伝えなど、天気の変化を予測する手段は様々です。  
海で仕事をする漁業者だからこそ、天候変化のその先に潜む危険が回避できるのではないのでしょうか。

**悪天候 一步先読む 漁業者の知恵** では、今月も安全操業で!

## 軌道修正

なぎさ信用漁業協同組合連合会 企画部部长 吉津 章司



漁協職員のM氏との交渉ごとで、いつもの如く意見が折り合わず、話が物別れになり「また出直すか」と半ば諦めかけた時、その方から『利を共にするは小なりといえども還って大なり！だでえ。』とさりげなく糾されたことがありました。この言葉は、江戸時代前期の京都嵯峨の豪商、角倉素庵（すみのくらすあん）の名言で、角倉家の家訓「船中規約」に記されたものです。意味は、「商売は相手にも自分にも利益をもたらすものでなければならぬ。利益をともに得るならば、その時は僅かでも、後々大きくなって還ってくる。」とのこと。この意味を後で知った時、これまでギクシャクしていた人間関係の原因が、独りよがりの主張をしてきた自分にあったのではないかと気付かされ、また同時に、何か肩の荷が下りた感覚を受け、それまで張り詰めていた気持ちが一気に楽になった事がありました。毛頭、聖人君子を気取る訳でもなく、「事なかれ主義」の典型的な私の愚見と聞いていただければ幸いです。人は日常の現実を追われた生活していると、視野が狭くなり本来の目的が何か分からなくなることがあります。そんな時、ふとしたことをキッカケに自分を見つめ直すことができる瞬間があるのでしょうか？

以来、この名言のとおり実践してきたと自負できるに至っておらず、何も大きな利が還ってきていませんので、協同組合精神にも通ずるこの言葉をこれからも大切にしたいと思っています。

現在、M氏は既に定年退職され、セカンドライフに忙しくされていると察しますが、但馬での約4年間、仕事上で大変お世話になりました。今回の寄稿に際し、このエピソードを載せることをお伝えしたところ、大変喜んで下さいました。いつかお会いする機会があれば、お礼方々近況報告も兼ね痛飲したいものです。その際、「わしはまだ（私はまだ）だけど、Mさんはでっけえ利が還ってきたことがあったんけえ？」と訊ねてみることにします。

## CONTENTS

No.741 July. 2018

- 2 ようこそ
- 3 なぎさ信用漁業協同組合連合会通常総会  
JFぎよさい兵庫通常総会  
兵庫県JF共済推進本部通常総会
- 4 兵庫県漁協女性部連合会通常総会  
播磨地区漁協女性部連合会通常総会・研修会  
但馬地区漁協女性部連合会通常総会・研修会
- 5 一般社団法人 播磨漁友会通常総会  
播磨職員協通常総会  
漁船保険事務研修会
- 6 兵庫県漁民物故者合同供養祭  
岩ガキ収穫体験
- 7 新JF組合長のご紹介  
但馬地区漁業協議会 消費税軽減税率制度にかかる説明会  
ひょうご豊かな海発信プロジェクト
- 8 ガザミふやそう会 会員募集  
大輪田塾 第14期生 募集
- 9 海の事故ゼロキャンペーン
- 11 兵庫JCC通信
- 12 旬に想う  
大輪田塾だより



表紙の言葉

### 但馬のシロイカ（香美町）

（画像提供：JF兵庫漁連 松岡頼都氏）

但馬ではシロイカと呼ばれこの時期を代表する重要魚種ですが、そもそもシロイカという種類のイカはいません。山陰地方ではこの名前と呼ばれていますが学名はケンサキイカです。

シロイカ釣漁船の漁り火は但馬の夏の風物詩となっています。このイカは何といっても刺身が絶品で、真っ白で綺麗な身は嘔むと舌にまとわりつく濃厚な甘みがたまりません。このイカを見ると夏が来たなと思います。

# 平成30年度 なぎさ信用漁業協同組合連合会

## 通常総会開催

6月25日(月) 明石市内のホテルで平成30年度通常総会を開催いたしました。

榎本 秀春会長の挨拶の後、JF紀州日高松村徳夫組合長を議長に選出し、議事が進められました。合併初年度である平成29年度の事業報告では、なぎさ信漁連の運営方法・事務・事業展開について、「なぎさ信漁連としてのスタンダードを作り上げる期間」として、組織風土の

確立と組織基盤強化への取り組みが報告されました。

平成30年度事業計画については、中期経営計画における年度別目標として掲げた「作り上げたなぎさ信漁連のスタンダードをくまなく浸透していく期間」と位置づけ取り組みことし、議事は滞りなく終了しました。

# 平成30年度 JFぎよさい兵庫

## 通常総会開催

6月25日(月) 明石市内のホテルで平成30年度通常総会が開催されました。

川越一男組合長は挨拶で「漁業共済事業、地域共済事業とも前年を上回る実績であった。収支は事業部門、管理部門ともに黒字となり剰余金も計上できた。今後も『ぎよさい』と『積立ぶらす』の一層の定着に努めていく」とされました。この後、平成29年度の事業報告をはじめ、平成30年度事業計画などが上程されました。30年度事業計画は、ぎよさい普及推進全国運動を展開し、「ぎよさい」と「積立ぶらす」の一層の浸透、定着に

取り組むものとし、①ぎよさい普及推進全国運動に呼応した取組②中央・地方一体的推進活動の展開③系統各団体・行政庁との連携④広報活動の活発発展⑤漁業共済掛け金助成事業の活用⑥研修活動の充実強化と組織活性化⑦漁業者サービスの充実等⑧制度の充実等に対する取組とし、本年度加入目標金額を漁獲共済135億6,667万円、養殖共済6億3,052万円、特定養殖共済125億2,432万円、地域共済6億3,532万円、積立ぶらすの漁業者積立額を7億4,900万円としました。



# 平成30年度 兵庫県JF共済推進本部通常総会開催

6月15日(金) 神戸市垂水区において兵庫県JF共済推進本部の平成30年度通常総会が開催されました。

開会に先立ち、戎本本部長が日頃の推進活動に触れ、「厳しい漁業情勢の中、1年間推進活動にご尽力賜りました漁協役員の皆様に深く感謝申し上げます。平成29年度は3か年計画の初年度として、主幹共済であるチヨコ一の保有契約の減少に歯止めをかけることを第一義に位置付けて精力的に漁協と連携しながら推進活動を行ってまいりました。又、昨年7月にくらしが制度改正され、漁協役職員の皆様がPR活動を徹底頂いた事により、多くのご契約者に最新くらしへの切替をお願うことができました。重ねて厚く御礼申し上げます」と感謝の意を表しました。

引き続き、来賓として平石水産課長、共水連本所深瀬常務、共栄火災神戸支店田崎支店長が順次祝辞を述べた後、戎本本部長が議長となって提出議案の審議に入りました。

「第1号議案 平成29年度活動報告について」、「第2号議案 平成30年度活動計画について」の2議案が審議され、原案どおり全会一致で可決されました。

又、報告事項として、運営委員1名の補欠選任について磯田所長が説明し、議案審議は全て終了しました。

最後に、東根副本部長が「漁業者の生命と財産をJF共済で守ることを念頭において、更なる普及推進のために運営委員が一丸となって努力いたします」と挨拶を述べて総会は閉会しました。



## 平成30年度 兵庫県漁協

### 女性部連合会通常総会

6月27日（水）、神戸市水産会館にて、23会員（うち5委任状）49名と兵庫県農政環境部農林水産局水産課 山下正晶副課長、JF兵庫漁連 田沼政男会長はじめ来賓12名の出席のもと、平成30年度兵庫県漁協女性部連合会通常総会が開催されました。



総会は、森武美会長の挨拶、山下副課長、田沼会長はじめ来賓紹介に続いて、議事に入りました。平成29年度事業報告及び収支決算、同30年度事業計画及び収支予算、平成30年度会費賦課額及び徴収方法と提出された議案はすべて承認されました。

## 平成30年度 播磨地区漁協女性部連合会通常総会・研修会

播磨地区漁協女性部連合会は、6月20日（水）、兵庫県立水産技術センターにて、8会員のうち、8会員（うち1委任状）44名と（一社）播磨漁友会 井上会長はじめ来賓15名の出席のもと平成30年度通常総会を開催しました。

総会は、井上千鶴会長の挨拶、井上仁漁友会長はじめ来賓紹介に続いて、議事に入りました。平成29年度事業報告、収支決算、同30年度事業計画・収支予算について承認され滞りなく終了しました。



総会終了後、JF兵庫漁連の突々専務を講師に迎え、「瀬戸内海を豊かな海へ」と題してご講演いただきました。今後の魚食普及活動等を通じ、豊かな海について発信していくための知識を得ることができ、女性部の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

## 平成30年度

### 但馬地区漁協女性部

### 連合会通常総会・研修会

平成30年6月20日（水）



JF但馬津居山支所にて、但馬地区漁協女性部連合会通常総会が会員40名と但馬水産事務所 長島浩所長、JF但馬村瀬晴好組合長、JFなぎさ信漁連 黒田俊文理事長はじめ来賓12名の出席のもと開催され、平成29年度事業報告、収支決算並びに平成30年度事業計画、収支予算の各議案が承認されました。

総会終了後の研修会では、但馬地区漁協女性部連合会川越しのぶ会長（JF浜坂）より、3月に東京で行われた全国青年、女性漁業者交流大会で発表された「浜のかあちゃんのほたるいかつくだ煮を商品化」についての報告と、兵庫県立水産技術総合センター 水産技術センター 反田寛参与より「豊かな海について考える」と題した講演が行われ、参加した女性部の方々は、最後まで興味深く聴講されていました。

## 一般社団法人 播磨漁友会通常総会

6月29日(金)、姫路市内のホテルにおいて一般社団法人播磨漁友会(井上仁会長・JF岩見)の第43回通常総会が開催され、会員16名(委任状1名)並びに行政機関、系統団体からの来賓の方々が出席されました。

開会にあたり井上会長が挨拶し、兵庫県農政環境部農林水産局水産課資源増殖室 中岸明彦室長、JF兵庫漁連 田沼 政明会長が来賓を代表し祝辞を述べました。

総会は井上会長が議長を務め、平成29年度事業報告、任期満了に伴う役員改選などの4議案が原案通り可決承認されました。なお、任期満了に伴う役員改選では前役員が全員再任されました。



## 平成30年度 漁船保険事務研修会 開催

庁長官表彰をはじめ日本漁船保険組合会長表彰として部門毎の表彰が行われました。

引き続き、平成29年度の事業概況報告並びに平成30年度事業計画について事務局から説明がありました。

また、今回の研修会では、関西学院大学文学部田和正孝教授から「兵庫県瀬戸内海延縄漁業史(誌)」講演があり、明治期の延縄漁法や操業順決定方法など漁場利用の歴史が紹介され、参加者は終始熱心に聴講されました。

最後に福田一義支所運営委員が閉会の挨拶を行い、事務研修会は盛会の内に終了いたしました。



漁船保険事務研修会

## 平成30年度 播磨職員協通常総会開催



6月19日(火)、播磨漁友会館(姫路市)にて、播磨地区漁協職員協議会平成30年度通常総会が、代議員25名(委任状7名含む)出席のもと開催されました。

(JF家島)が挨拶し、来賓を代表して(一社)播磨漁友会 井上仁会長、JF兵庫漁連 田中健二 参事、姫路農林水産振興事務所 大野 泰史課長補佐がそれぞれ祝辞を述べられました。

議事に入り平成29年度事業報告及び収支決算並びに剰余金処分案、平成30年度事業計画及び収支予算、会費賦課額と徴収方法の3議案は原案通り承認されました。また、任期満了に伴う役員改選では前役員が全員再任されました。

最後に、平成30年度の親睦ボートリング大会・意見交換会・学習会の行事日程が報告され、参加が呼びかけられました。

(文：播磨地区漁協職員協議会)

日本漁船保険組合兵庫県内海支所は、平成30年度漁船保険事務研修会を7月3日(火)神戸市内のホテルで開催し、管内三十五漁業協同組合の組合長、担当役員をはじめ、県市町担当係官、系統団体代表者等約130余名が参加しました。初めに、井上仁支所運営委員長、三宅 哲夫日本漁船保険組合会長による主催者挨拶、兵庫県水産課 平石 靖人課長、兵庫県漁業協同組合連合会 田沼 政明会長の来賓挨拶に続いて、賞状授与伝達式が行われ、無事故漁船所有者の部で淡路島岩屋漁協所属「住吉丸」への水産



田和教授の講演

## 第43回

# 兵庫県漁民物故者合同供養祭開催

今年で43回目となる 兵庫県漁民物故者合同供養祭（主催：JF兵庫漁連）が、6月11日（月）和歌山県の高野山大学松下講堂並びに慰霊塔前において厳かに執り行われました。

会場には県内漁業関係者ら168名が参列し、開会にあたり遺族代表の磯崎剛様（JF沼島）と西村睦美様（JF但馬）の手で、平成29年度中に物故された117柱の芳名簿が祭壇に奉納されました。主催者代表として挨拶に立ったJF兵庫漁連 田沼政男会長は「本県が全国有数の水産県として今日あるのは、ここに合祀されておられますご尊霊のご努力の賜物であり、在りし日の輝かしき業績に対し深く敬意を表します。残る我々は力を合わせて豊かな漁場を取り戻し、次世代に引き継ぐことを誓います。」と話され、続いて来賓を代表して兵庫県知事（県農林水産局石井龍太郎局長 代読）、JF全漁連会長（JF全漁連檜垣浩輔参事代読）から追悼の言葉をいただきました。その後、読経の流れるなか、主催者、ご遺族、来賓、一般参列者の順に焼香が行われJF兵庫女性連森武美



会長から全参列者に御礼が述べられ、供養祭は厳粛のうちに滞りなく終了しました。

これまでに合祀されたご尊霊は今回の117柱を含めて12,493柱となりました。心からご冥福をお祈りいたします。（文：JF兵庫漁連指導部）

## 岩ガキ収穫体験

### 「JF浜坂」

平成30年度 県政150周年記念 県民連携事業として、5月26日（土）、6月3日（日）の2回、新温泉町居組漁港において「岩ガキ収穫体験」が開催されました。

この岩ガキは浜坂漁協が但馬水産事務所・但馬水産技術センターの指導を受け試験的に養殖を行ったもので、3年間手塩にかけて大きく育った岩ガキを、この度、一般の方に収穫体験を通じて漁業を身近に感じて頂き、また獲れたて新鮮な魚介類の美味しさに触れて頂くとう企画されました。

地元の方ももちろん、参加者の中には今回のイベントをSNS等で知り、大阪・尼崎等の京阪神からお越しの方もいて、参加者枠の20名はすぐに埋まってしまっほどの高い関心を頂きました。

イベント当日は、まず始めに県職員の方による座学が行われ、岩ガキと真がきの違いや岩ガキの成長についてのお話がありました。

その後、希望者の方に船に乗って頂き、養殖場で岩ガキの引き揚げを行い、それを港岸壁まで持ち帰り、皆で大きな塊になっている岩ガキを道具を使いひとつずつバラバラに分



収穫した岩ガキを掃除

けて、タワシでゴシゴシと掃除をする作業を行って頂きました。

そして自分たちで綺麗にした岩ガキをバーベキューコンロの網の上にドカッと大量に乗せ、八タ八タやモサエビ、サザエ等、地元で水揚げされた魚介類と一緒に焼きたてアツアツで召し上がって頂きました。

終了後のアンケートでは「美味しかった、また来たい」等の嬉しいご感想を多数頂きました。3年養殖の岩ガキは殻が大きく、中の身もものすごく大きく育っており、食べごたえ抜群でとても美味でした。

育つには長い時間がかかる岩ガキですが、今後も定期的に開催できるよう、又、ブランド化にも繋がるよう県の指導を受けながら活動を続けていきたいと思います。

（文：JF浜坂）

## 新JF組合長のご紹介

新たにJF組合長に就任された方の御名前をご紹介します。

● JF森 代表理事組合長 森 幸好 氏 (平成30年4月1日就任)

※(一財)兵庫県水産振興基金確認分



## 但馬地区漁業協議会 消費税軽減税率制度にかかる説明会 開催

但馬地区漁業協議会は6月14日(金)、「消費税軽減税率制度にかかる説明会」が但馬漁業協同組合で但馬地区漁協役員を対象に開催し、約50名が受講しました。本説明会は、平成31年10月に実施予定の消費税の増税と軽減税率制度の導入にあたり、法制度の基本とポイントについて理解を深め円滑な導入を目指すべく、JF全漁連信用・組織指導部より、谷崎弘典副調査役並びに渡邊裕太氏を講師に招き行われました。



「対象品目」「資格請求書等保存方式」「軽減税率対策補助金」について説明が行われました。渡邊氏からは、組合からの事前質問をもとに、「飼料用の魚の販売」「製氷事業における氷の取扱い」等組合事業の具体的な事例に基づいた説明が行われました。説明終了後には、活発な質問が行われ、組織として制度へ対応方法を再確認することはもちろん、会計職員だけでなく全職員が制度を理解し、対応する必要があることを再確認し、研修会は終了しました。

## ひょうご豊かな海

### 発信プロジェクト

### 須磨海浜水族園 特別展

### 海から見た兵庫県

### 〜二つの海にはさまれて〜

「ひょうごの豊かで美しい海」について、県民の理解を深めるために「ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会」が取り組む事業の一環として、神戸市立須磨海浜水族園と共催により、下記のとおり特別展が実施されます。

主催：神戸市立須磨海浜水族園、ひょうご豊かな海

発信プロジェクト協議会(共催)

日程：平成30年7月14日(土曜日) から

12月2日(日曜日) まで

場所：神戸市須磨区若宮町1-3-5

神戸市立須磨海浜水族園内

(和楽園特別展示室)

内容：題名「海から見た兵庫県

〜二つの海にはさまれて〜」

兵庫県は瀬戸内海と日本海に面し、多様な環境とそこにすむ様々な生物が存在します。また、それぞれの海域特性に応じて多くの漁業が営まれ、たくさん魚介類が漁獲されています。

本特別展では、来園者に「豊かな海ってなんだろう?」と興味を持ってもらうために、干潟や藻場の水槽、漁業に関する映像、豊かな海を支える取組についてのパネル、VR体験コーナー等の展示を行います。

(来園者の事前申込は不要ですが、通常の入園料が必要です。)

## ガザミふやそう会 会員募集!!

自然の力によってガザミ資源を増強しようという取り組みを実践する「ガザミふやそう会」(大西 正起 会長)は、全国でも高く評価され、他県でも行われるなど大きな輪となって広がっています。

昭和61年から始まったこの取り組みは、県内漁業者、JF、系統団体のほか、一般市民や他県の水産関係者からの会費によって運営されており、現在、平成30年度の会員を募集しています。“兵庫発”の取り組みに、是非ご賛同ください。

平成30年度の新しい会員証(オリジナルQUOカード)が出来ました!

### ～会費・入会に関して～

- ・会費は1,000円/年です。
- ・会員の証として、オリジナルQUOカード(500円分)をお渡しします。
- ・取り組みの内容など詳しくはJF兵庫漁連ホームページをご覧ください。



**【事務局】** 〒675-0163 加古郡播磨町古宮字堀坪1-4 JF兵庫漁連のり流通センター内  
**ガザミふやそう会事務局 (JF兵庫のり海藻部資材内)**  
 TEL: 078-942-9272 FAX: 078-942-9340

## 大輪田塾 第14期生 募集しています。

平成17年に開講された「大輪田塾」は、めまぐるしく変化する社会・経済情勢に対応し、将来にはJF組織を支えていける人材、つまり「浜のリーダー」育成を目的に始まったもので、多くの修了生が、JF組合長・理事などを務め、地域のリーダーとして活躍されています。

講義は、県・系統団体をはじめ多彩な講師陣による月1~2回の座学を中心に、外部研修や事務局が適当と認めた会議等も聴講できるといった幅広い知識の習得が可能なカリキュラムを組んでいます。

大輪田塾では、現在、今秋入塾される第14期生を募集しています。皆様のご応募をお待ちしております。



視察研修 大西コルク工場見学 (H29.8)



水産会館での講義の様子

### ◎応募資格

- ①原則として、漁業歴10年以上かつ45歳未満
  - ②原則として、JF職員歴10年以上かつ45歳未満
- のいずれかに該当する者で、所属する組織代表者の推薦を受けた者

### ◎在籍年限

原則2年(最長3年)

募集は8月末まで。その後、面接を行い、運営委員会の選考を経て、10月(予定)に入塾式を行います。(詳しい募集要領は各JF・団体宛に通知させていただきます。)

問合せ先(事務局) (一財)兵庫県水産振興基金

〒673-0883 明石市中崎1丁目2-3 TEL 078-919-1331





### 重点事項1 小型船舶の海難防止

出航する前にはしっかり確認、航海予定の周知を!!

プレジャーボートのエンジントラブルが増加しています。下架後や出航する前には

- 燃料 ●エンジンオイル ●バッテリー ●冷却水 など

の検査を確実にし、安全運航を心がけましょう。また、家族やマリーナ等に航海予定を伝えておくなど、万が一に備えましょう。

### 重点事項2 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進

海難で一番多いのが衝突であり、原因は「見張り不十分」や「不適切な操船」が多数を占めています。

#### 1 常時適切な見張りの徹底

「居眠り運航」や自動操舵任せで見張りをおろそかにせず、常時適切な見張りを行いましょう。

#### 2 船舶間コミュニケーションの促進

十分に余裕のある時期に船舶間コミュニケーションを図り、相手船の動きを把握し、適切な操船を行いましょう。

- 早めに相手船にわかりやすい動作をとる
- 国際VHFや汽笛信号などを活用する
- AIS情報の活用と正しい情報の入力

なんといっても  
見張りが重要です!!

### 重点事項3 ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保

万が一、海に転落した場合、①海上に浮く②速やかに救助要請という2点が必要不可欠です。

- 1 ライフジャケットの常時着用
- 2 適切な連絡手段の確保
- 3 海の緊急通報

海のもしもは  
118番

#### 小型船舶の船長が遵守しなければならない事項

モーターボートや水上オートバイなどのプレジャーボート、その他の小型船舶を安全に利用していただくため、小型船舶操縦者(船長)に対し、法令で遵守事項を定めています。

- 酒酔い等操縦の禁止
- 危険操縦の禁止
- 免許者の自己操縦
- ライフジャケットの着用
- 見張りの実施
- 発航前の検査
- 事故時の人命救助

平成30年2月1日以降、小型船舶の船室外の甲板上では、原則、すべての乗船者にライフジャケットを着用させることが、船長の義務となりました!

## JAPAN COAST GUARD

### 海の安全情報

海上保安庁では、全国各地の灯台などで観測した気象・海象の現況、海上工事の状況などの「海の安全情報」を提供しています。

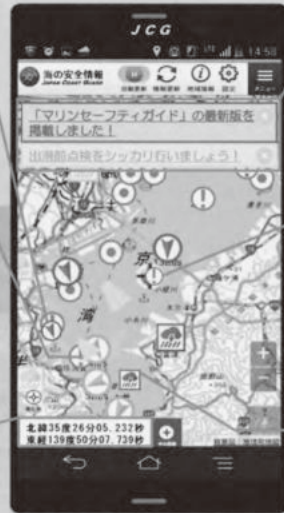
「海の安全情報」は、インターネットを通じて誰でも簡単に利用することができます。

#### スマートフォン用サイトの表示

各情報のアイコンをタップすると情報の件名等が表示され、さらにタップすると詳細な情報が表示されます。



- 気象現況**  
■ 気象現況のアイコンをタップすると「風向、風速等」の数値等が確認できます。
- 海域情報**  
■ 海域の図形をタップすると船舶事故が多発する海域などの情報が確認できます。
- 現在地の座標**  
■ 現在地の緯度・経度を表示します。



※イメージ図です

- 船舶事故防止に係る安全啓発情報等の表示**  
■ 全国的に共通する情報  
■ 海上保安部等が提供する情報(地域情報)
- 緊急情報**  
■ 緊急情報のアイコンをタップすると航行船舶に影響のある緊急情報が確認できます。
- 気象警報・注意報等**  
■ 気象警報・注意報等をタップすると気象庁が発表する気象警報・注意報等を確認できます。

パソコン用サイト



スマートフォン用サイト



携帯電話用サイト



**緊急情報配信サービス**  
24時間体制で海上保安庁が発表する緊急情報や気象庁発表の気象警報・注意報等を電子メールで配信します。

**新規登録用ページ**

パソコンやスマートフォン、携帯電話から、簡単にアクセスできます。

海の安全情報 で 検索

お詫び

平成30年6月発行の拓水740号で下記について誤りがありました関係者の皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。ここに訂正して、お詫び申し上げます。

4頁 平成30年度 淡路地区漁協女性部連合会通常総会・研修会  
森 武美会長 (誤) J F南あわじ → (正) J F福良

5頁 海難事故を無くそう  
(誤) 土井祐樹 → (正) 土井祐介

## 消費者と生産者をつなぐ ～JA兵庫六甲の新たな都市戦略～

JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を重点目標とする自己改革に取り組んでいます。JA兵庫六甲は、中期経営計画「'21ビジョン」を実践することによって、自己改革を進めています。同ビジョンは、「“農協”の本来の役割を見つめ直し、変革に向けた取り組みを強化する」としています。同JAは、都市と農村地域の両方を地区にしており、消費者と生産者をつなぐことが重要だと考え、新たな「都市部戦略」を実践しています。

今年4月、神戸市東灘区に「ファーマーズマーケット マチマルシェ御影」「惣菜販売&カフェ 御影キッチン」と信用・共済事業を中心に行う「御影支店」が同じ敷地内にある「御影JA総合センター」を開設しました。都市部の消費者は、JAの正組合員（農家）が生産した選りすぐりの農畜産物をマチマルシェで購入できます。「御影キッチン」では、マチマルシェに入荷された野菜などを素材にしたランチや軽食を食べていただけます。また、2階のクリエーションルームでは、支店の担当者が料理教室などを開催し、食農教育にも取り組んでいます。

マルシェとキッチンが相乗効果を発揮し、都市部においてもJA総合事業としての機能を高めていくことを目指しています。



ファーマーズマーケット、支店とキッチンが並ぶ御影JA総合センター



◀選りすぐりの農畜産物が並ぶ  
マチマルシェ御影

<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

## すべての審議が滞りなく終了

### 『第68回 兵庫県生協連 通常総会 開催』

＜基本テーマ＞ 地域コミュニティー・  
ネットワークの構築

### ～協同が息づく兵庫のまちづくり～

6月25日（月）兵庫県民会館で兵庫県生協連第68回通常総会を開催しました。

2017年度活動報告、2018年度活動報告など4つの議案について審議し、全議案が可決されました。木田克也会長理事は、冒頭、大阪北部地震にふれ「減災・防災への備えを進めていかなければなりません。また、生協は、助け合いの組織としての実践が評価され、SDGs（持続可能な開発目標）の推進には、国内外から協同組合の力・生協の力が期待されています。今こそ私たちの出番です。生協運動を進めてまいりましょう」と挨拶しました。続いて、来賓の方々からそれぞれ大会の盛会と今後の発展を祈念したご祝辞をいただきました。

また、役員選任と第1回理事会の結果、新しく兵協連 理事に鈴木 雅子氏（神戸市民生協 専務理事）が就任されました。



兵庫県生協連 木田 克也 会長理事



すべての議案が可決されました

<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>



# 旬に想う

写真と文  
遊方子

## 傘かしげ・肩引き

◆細い道で自転車と出交わし、衝突せぬよう道をあけて避けた。よく有る事で、会釈ぐらいいはして貰いたい、素知らぬ顔で通り過ぎて行く。そんな人が多い。江戸しぐさ言葉に「傘かしげ」とか「肩引き」というのがある。道幅が狭く人通りの多い場所ですれ違う時、肩や腕を引いたり、雨の日には傘を傾け、互いに当たらずにす。細かな気配りで、お互いを思いやる一種の挨拶であり作法である。他人を気遣って思いを掛ける。気持ち良く暮らしていく上での、生活の知恵でもある。こうした気持ちからは、いじめは発生しないだろう。

◆『お付き合いは敷居の上』という。親しくなってもズカズカと家庭の奥まで入らず、敷居あたりで済ませるのがいい。生活の奥まで干渉しない教えである。言葉は生きていくため、慎ましさで日本語から消えてゆく。近所付き合いが煩わしいと、粗略に考える人が実に多くなっている。ずっと以前、隣りから手作りの煮物が小鉢で届いたものだ。器のみを「お移り」として返す、何かお返しを考えると、いい勝手口の付き合いだった。こうした近所付き合いが消滅した。生活様式の変化であり、時代の流れだから仕方がない。常識範囲として「向う三軒両隣り」くらいは親しくありたい。連れ合いが嘆くのが判るのである。

◆常識とは標準的な理解と判断、思慮分別を含めた「良識」のことだが、これは学校では教えてくれない。家庭で行うべき躰けの類いで、学校に押し付けるべき事ではあるまい。日本語力のある子供が少なくなっているという。日本語が崩壊すると懸念する人もいる。子供への国語教育こそ最重要な科目だと思う。言葉を知らず、漢字も読めないのは重大な心配事である。教育のやり方に問題ありとも考えるが、それには何をなすべきか。柔らかい頭脳にもっと日本語の美しさを送り込むことが必要であろう。美しい詩の朗読が最適である。格調高い日本語のリズム感を理解し、先人の詠んだ名吟に注目すべきだと思う。

◆ニュース画面で、頭を下げて「ご免なさい」の場を再々目にする。謝る時は非を認める勇気が必要だが、大勢を前に等閑（なおよざり）な感じが拭えない。よく使う「遺憾」の「憾」は、心が二つも入った字だが謝罪の意味は無い。ヤレ部下の不幸で…とか、不祥事の具体的な説明はせず、深謝している様には見えない。「失礼しました・お手を煩わせ恐縮です・申し訳ありません」と多種多様な決まり文句の用意があり、どの場合にどれを使うのか、日本人の「お詫び好き」が語彙の豊富さに現れている。「祖国とは国語だ。それ以外にない」と、敬愛する良識の人／山本夏彦の言葉であるが、全くその通りであるように思う。

## 大輪田塾だより

### 「水協法概要」

6月の大輪田塾は12日（火）に開講されました。

「水産業協同組合法概要」では、県水産課漁政班主査 中桐 崇氏から、漁民及び水産加工業者の協同組織の発展を促進し、もって経済的社会的地位の向上と水産業の生産力の増進とを図り、国民経済の発展を期することを目的に制定され、組合は事業によってその組合員又は会員のために直接の奉仕をすることを目的に制定された法律であることの説明が行われ、同法の条文等について詳しく説明が行われました。

また、決算報告からみる漁協経営について、財務3表である貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書についての説明や漁船リース事業についての説明が行われました。

法律の中に盛り込まれている協同組合の理念を学ぶとともに、決算報告書の見方を学ぶ内容の濃い講義となりました。



講義の様子